

■インド：政府、2030年までに発電の40%を非化石燃料にする目標を発表

2018年10月2日付の報道によると、モディ首相は、インドに本部（グルグラム）を置く国際組織「ソーラー同盟（International Solar Alliance）」の第1回会合において、インドの2030年までに発電電力量に占める非化石燃料の割合を40%とする目標を発表した。また今後、石炭依存度を減らし、代わりにB3（バイオマス、バイオ燃料、バイオエナジーの3つのB）に注力する方針も明らかにした。ソーラー同盟は、日射量の多い地域を中心に、世界121カ国が加盟している。